

## CTOメッセージ

### 「トップブランドの誇りと責任」

技術革新による電子部品の性能向上は、機器の安全性や利便性のみならず、環境保全の側面においても大きなメリットをもたらします。アルミ電解コンデンサのトップメーカーとして、当社にかかる期待を強く感じています。「E.C.O.ソリューション企業」を目指すことで、その責任を果たしていきます。

取締役 上席執行役員  
CTO 研究開発本部長

上山 典男



当社は、1931年の創業以来80年以上にわたりアルミ電解コンデンサを中心に事業展開してきました。おかげさまで、アルミ電解コンデンサのトップブランドとして、世界中のお客様にあらゆる分野でご使用いただいています。

IoTにより全ての電子機器がインターネットを通じてつながるようになり、産業界でもいかにこれを有効活用していくかが、非常に重要な課題になっています。

また、自動車の電動化や自動運転の進展に伴い、自動車産業の中でもエレクトロニクス分野の重要度が一層増してきています。

このように今後も私たちの身の回りで、電気や電子機器への依存度はますます大きくなっていくものと考えられますが、その一方で、今年の夏の西日本豪雨や日本全国での40℃を超えるような猛暑、更には北極圏でも30℃に達するなどの異常気象を目の当たりにすると、温暖化対策は待ったなしの状況にあるものと考えます。

当社の主力製品であるアルミ電解コンデンサは、電源や変換機での平滑用のほか、モーターの駆動やノイズの除去、瞬低時のバックアップ用途など、様々

な回路でご使用いただいておりますが、コンデンサの損失を低減することで、機器の効率向上に貢献できるものです。

アルミ電解コンデンサ以上に大きな容量(エネルギー)を持つ電気二重層キャパシタ「DLCAP™」は、その特徴である「チョコチョコ貯められる」特性から、減速エネルギー回生用途など、従来は捨てられていたエネルギーを有効活用するための部品としてご採用いただいています。

また、アルミ電解コンデンサの誘電体であるアルミ酸化皮膜の形成には大量の電気を使用しますが、酸化皮膜の形成条件の改良により10年前の半分以下の電力で同等の耐電圧を有する酸化皮膜を形成できるようになってきました。

当社の主力製品は受動部品ではありますが、その性能向上や生産性改善を通じて、省エネ、蓄エネに貢献していくことが、当社の長期的なミッションとして掲げている「E (Energy). C (Capacitor). O (number One).ソリューション企業」(エネルギー分野でキャパシタNo.1企業になる)に近づく取り組みになるものと考えています。